

屋久島町立 金岳小・金岳中学校

# 金岳だより

平成三十一年 二月 十日 発行

校長 吉田 康孝

寒さの緩みと共に梅や桜の開花が始まり、春の訪れを感じる頃になりました。校庭の草花にも春の訪れを感じさせるかわいらしいつぼみを見つけることができます。木や草や花は、ちゃんと季節の変わり目を感じ取り、来たるべき春に備え、着実に準備が進められていることに気付かされます。

さて、「光陰矢のごとし」時の流れは本当に早いもので、子供たちが現在の学年になってから十か月余りが過ぎようとしています。今年度、小学校は貴船櫻さん、増永賢太郎さんの二名、中学校は貴船櫻さん、藤山千夏さん、安永和馬さんの三名、計五名が「平成最後の卒業生」として卒業式を迎えることになりました。小学生二名は、金岳中学校と県外の中学校へ進学、そして、中学生三名は、九か年間の義務教育を終え、それぞれの進路に向け島立ちの日を迎えることとなります。在学期間中は、新岳噴火による全島避難や新校舎建設に伴うプレハブ校舎での学習など、ちよろど学校生活と重なった卒業生たちでした。それぞれに厳しい生活環境ではありましたが、逆境にめげることなく、学校のリーダーとしての役割を十分に自覚し、様々な場面で活躍してくれました。そんな卒業生の思いを大切にできるように、学校をあげて厳粛で清新な気分を味わう金岳小中学校らしい卒業式にしようと職員や在校生で話し合っているところです。

郷土の偉人西郷隆盛が詠んだ漢詩の一部に「雪に耐えて梅花麗し」という言葉があります。この言葉には、「冬の雪や厳しい寒さに耐えるからこそ、梅の花は春になると美しい花を咲かせる。苦しいことに耐えてこそ、その先には大きな成長がある。」という意味が込められているようです。これまでの卒業生たちもそうであったように、便利な都会の学校では決して

味わうことのできない、不向き故での多くの価値観に触れ、たくましく成長してくれた子供たちだったと思います。口永良部島での多様な価値観への気付きが、今後のそれぞれの進路先で大きくプラスとして働くことを期待しています。

さて、この時期になると教師は、子供たちが今の学年で身に付けるべきこと(学習面、生活面、その他)がきちんと身に付いているかを振り返ります。こういった思いの背景には、きっと、「どのような境遇におかれても幸せになれる子供を育てたい。」という願いが、私たち教師の心の奥底に強くあるからだと思います。「今やるべきこと(身に付けるべきこと)」は、今やる(身に付ける)ということを大切にしたいものです。もし不十分ならば残り一か月で、きちんとできるように努力してまいります。次の学年に積み残して、卒業・進級させないことが大切だと考えているからです。子供たちの様子を御覧になって、不十分だと感じることがありましたら、ぜひ遠慮無く担任を通して、あるいは直接校長や教頭にお知らせください。学校でできることは、よりよい方向で努力してまいります。よろしくお願いいたします。

## 立志式(中学校)

二月四日(月)に、立志式が行われました。立志式は昔の元服(成人式)に由来しますが、本校でも、中学二年生を対象に、将来の目標や夢について志を立てる有意義な式として実施しています。今年山田悠月さんが「立志式」を迎え、今までの十四年間を振り返り、「臥薪嘗胆」に込めた三つの目標と努力する決意を堂々と発表しました。

また、講演会では、本校木村用務員が、「なぜ目標は必要なのか」の演題で講演を行いました。自身のこれまでの学生生活や様々な職場での体験等を振り返り、目標をもつことの大切さや目標達成のための努力は、必ず自分に返ってくることを、そして様々な人々との出会いに感謝するとともに、「口永良部島での生活にかける一人のために働きたい」という強い思いを伝えて講話を終りました。今回の講話で学んだことを

もとに、生徒一人一人が金岳中学生としての自覚と誇りをもって、自分の将来や夢に向かって努力して欲しいです。

### 「誓いの言葉」

山田 悠月



今日は、私の立志式のためにご集まりいただきありがとうございます。昔の人は、十五歳の若さで元服し、志を立て、目標に向かって努力していったことを知り、驚きました。五年後には成人式を迎え、大人の仲間入りをするという実感がまだまだわきませんが、先人の方々のように、十五歳になった今、私も志を立て、自分自身に責任をもち、自立できるように頑張っていきたいです。

そこで私は、「臥薪嘗胆」という言葉を志として選びました。これは、「目的のために苦心し、努力する。」という意味です。

この言葉をもとに、私は三つの目標を立てました。一つめは、何に対しても責任をもつ。二つめは、努力を積み重ね継続する。三つめは、誰に対しても感謝の気持ちをもつことです。

一つめの「何に対しても責任をもつ」は、自分の仕事をしっかりとやり遂げて、次に進んでいきたいと考えたからです。今、私は生徒会長を任せられ、えらぶつ子タイムや専門部会の司会をしています。最初はどうすればいいかわからず、苦労しましたが、前会長の桜さんがこれまで責任をもって取り組んでいた姿を見て、私もそうありたいと思ったからです。

二つめの「努力を積み重ね継続する」は、「継続は力なり」と言われるように、続けることが大切だと思うからです。これまでは、トレーニングや勉強が長続きしないことがあり、それでは力を付けることにはならないので、努力を積み重ねたいと思いました。

三つめの「誰に対しても感謝の気持ちをもつ」は、自分が今、いろんなことができています。誰かの支えがあるからだと思うので、感謝の気持ちを忘れられないようにしたいです。口永良部に来て留学生生活ができていことも両親の支えや、里親の正行さんやまささんの支えがあった

からです。また、この島では、地域の方々や先生方に支えられ、また、先輩や後輩のみんなが協力してくれるから、この一年間元気に過ごすことができました。これからも、自分が気付かないところで多くの方々を支えられていることを忘れないように過ごしていきたいと思っています。



### 小さな島、大きな家族

金岳小学校四年 貴船 桃

私が住む島はとても小さな島。この島で知らない人はいない。みんな大きな家族になる。一人が困っていたら、家族みんなで助ける。楽しいことは家族みんなで楽しむ。何も無い島だけど、大きな家族があるから毎日が楽しい。シカやコウモリ、ヤギなどたくさん動物たちも大切な家族。いろいろな色があふれる森もたくさん魚が泳ぐ海も、大事な家族だ。小さな島なのに大きな家族。島にある全部が宝物で大切な家族。今は守ってもらおうことばかりだけど、いつかこの家族を守るように、もっともつと強く、大きくなりたい。

一月二十日付南日本新聞「若い目」掲載

## 鹿児島県学習定着度調査

一月十六日(水)、十七日(木)に小学五年生、中学一・二年生を対象に、県下一斉に「鹿児島県学習定着度調査」が実施されました。金岳小中学校では、新岳噴火による避難もあり十六日と十八日での実施となりました。

小学校は国語・社会・算数・理科の四教科で、中学校は国語・社会・数学・理科・英語の五教科で実施されました。各調査は、「基礎・基本的領域」と基礎・基本的知識を活用した「思考・表現」の二部で構成されています。また、児童生徒の学習習慣等、学習に関する取組の傾向を把握するためのアンケートも同時に実施され

【児童生徒質問用紙回答結果 抜粋】		
Q 家で、学校の宿題をしていますか。	している、どちらかと言えばしている	100%
Q 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している、どちらかと言えばしている	64%
	あまりしていない	33%
Q 家で学習しているときに分からない問題がでてきたら、どうしますか。	あとで先生に聞く	33%
	自分で調べる	67%
Q 授業中にどのような内容についてノートをとっていますか。	板書してあることを写す	67%
	板書してあることを写し自分や友達の考えも書き込む	33%
Q 授業で分からないことがあったら、どうしますか。	先生に聞く	67%
	自分で調べる	33%
Q 学習する中で楽しいと感じたり、やりがいを感じたりすることがありますか。	ある	100%
Q あなたが勉強する理由は何ですか。最も当てはまるものを選びなさい。	将来の夢や目標を実現するのに必要だから	67%
	希望する中学校等に進学したいから	33%
	先生や家の人に勉強するように言われるから	0%
Q 将来の夢や目標をもっていますか。	もっている、どちらかと言えばもっている	100%

ました。調査結果から、金岳小中学校の児童生徒の傾向として、将来の夢や目標をもち、先生や家の人に言われるからではなく、夢や目標の実現のために学習に取り組んでいることや、学習に対する楽しさややりがいを強く感じているという実態がわかりました。今後は、この調査結果をもとに、各教科における「基礎・基本」「思考・表現」の構成、内容・領域、観点別等の視点で細かく分析し、残りの一か月で児童生徒の積み残しがないように、補充指導を徹底して行うようにします。併せて、児童生徒の課題解決には、どのような指導法が効果的であるか協議し、教師自身の指導力向上に努め、授業改善を図るようになります。

### 長所を伸ばして短所をカバー

金岳中学校三年 貴松 桜

生徒会長の任期を終えました。一年前、先輩から引き継いだ時、すぐに生徒会長は本当に大変だと思いました。周りをまとめるのも大変でしたが、期待に応えなければならぬ、先輩たちが作ってきた伝統を壊してはいけない、というプレッシャーが何よりも苦しかったです。

悩めば悩む程自分の欠点が見えてきて、生徒会長に向いていないような気がしました。そんな日々が続く、押しつぶされそうになった時、ふと思つたことがあります。向いていないと思つたところはすぐに直せない。しかし自分の長所を生かし、もつと伸ばすことで短所をカバーできるくらいになればいい。

私は、友達の良さや苦手なことを見つけることが得意です。私自身の長所を生かすのと同時に、私が見つけた一人一人の個性を最大限に生かせるように活動したいと考えました。この時から、私が悩んでいたことは、それほど大きな問題ではなかったと思えるようになりました。誰にでも短所があると同時に長所も必ずあること、短所をなくそうと努力することだけが壁にぶつかったときの解決方法ではないことに、気付くことができました。これからも自分の欠点を嘆くのではなく、前向きに自分の生かし方を考えて、自分の道を切り開いていきたいです。

一月十四日付南日本新聞「若い目」掲載

## 家庭教育学級 給食試食会



一月十五日(火)に、第十回家庭教育学級を実施しました。今回は、給食についての学習会でした。本校給食担当の白川養護教諭が、学校給食の目標や栄養面、また目標に向けた本校の様々な教育活動や取組を、パワーポイントで説明しました。その後給食献立のポイントである「まごわやさしい」について学習し、グループに分かれて「まごわやさしい」の食材を用いた献立作りのワークショップを行いました。日頃より毎日の食事を預かるお母さん方とあって、十分程度でメニューと使う食材が決まり、紹介する絵も美味しそうに仕上げていました。その後お互いに発表し、「まごわやさしい」の食材をどのように数多く取り入れたか紹介しました。

給食試食会では、子供たちの配膳の様子を見ながら自分たちで配膳も体験しました。その後児童生徒と一緒に、学習した「まごわやさしい」を取り入れたサラダ等給食を美味しくいただきました。会食中は、我が子の日頃の給食の様子などに会話が盛り上がり、楽しい一時となりました。



### 受賞おめでとう

南日本作文コンクール

三席

☆小学校二年 寺田 梨音

### 受賞おめでとう

「ありがとう」の手紙

入賞

☆中学校二年 山田 悠月

## 幼・小中合同豆まき



二月一日(金)に、朝の活動「えらぶつ子タイム」の時間を活用して、小中学生合同の豆まきを実施しました。本年度は、幼児学級の寺田梨珠さんも参加しました。児童生徒は、自分の弱いところを退治したい鬼に見立て、「鬼は外、福は内」と大きな声で鬼退治をしました。



### 二月・三月の主な行事予定

二月	二十日(水)	卒業式予行
二月	二十一日(木)	幼・小連絡会
二月	二十二日(金)	お別れ遠足
二月	二十六日(火)	学校関係者評価委員会
三月	四日(月)	司書補来校(～五日)
三月	六日(水)	県立高校入学者選抜(～七日)
三月	十一日(月)	中一・二年実力テスト(～七日)
三月	十三日(水)	卒業式予行
三月	十四日(木)	第六十六回小学校卒業式
三月	二十日(水)	第六十四回中学校卒業式
三月	二十一日(木)	県立高校合格発表
三月	二十二日(金)	ALT来校(～十五日)
三月	二十三日(土)	児童・生徒総会
三月	二十四日(日)	春分の日
三月	二十五日(月)	六年生を送る会
三月	二十六日(火)	修了式・大掃除・離任式
三月	二十六日(火)	春休み(～四月五日)